



家庭系ごみの減量化基本方針と ごみの有料化について

いぢの会 吉田 みな子



新ごみ処理施設完成イメージ図

問 7、8月に開かれた市民説明会では、基本方針の見直しも含めたさまざまな質問、意見が出ており、今後の市の動向に注視しています。さて、最新の2017年度の家庭から出る燃やせるごみの排出量は、人口増にもかかわらず1万9995トント過去最低です。1人1日あたりの排出量は、417・5トント2016年度比で10%減りました。市は有料化導入の理由に、ごみの減量化策は頭打ちでごみが減らないことを挙げています。これまでの説明が覆る結果に対しても、ご見解を伺います。

答 (経済環境部次長)：家庭系ごみが減量した要因は、昨年度に行つた粗大ごみの規格改定と捉えていますが、一般廃棄物処理基本計画の目標値からはまだ乖離していることから、さらなる減量化の取り組みは必要であると考えています。

問 戸別収集にかかる費用2億5千万円の算出根拠を伺います。戸別収集のごみ置き場の確保は、相談や調整などが多く出てくると推測されます。具体的な課題が出てくるのはこれからで、解決の道筋がつけられない状況で、実施時期を決めるのは無理があると思いますが、来年秋に実施できるとした理由を伺います。

答 (経済環境部次長)：先行市を参考に算出し、増となる経費の1つの基準として検討しています。実施時期のめどを2019年秋ごとした理由は、高座清掃施設組合の新しい焼却炉が2019年4月から本格稼働するため、なるべく早い時期にごみの減量化を図りたいためです。

- ・情報公開について
- ・災害対策について



学童保育事業の現状と 今後のあり方について

創志会 久保田 英賛

問 学童保育の需要は、地域的にはますます増える可能性があると思いますが、具体的にどう捉えていますか。

答 (教育部長)：市内の保育園、幼稚園に通つていて来年小学校に入学する子どもの保護者に、学童保育を利用する意向などを伺うアンケート調査を昨年から行っています。

問 需要の見込みが少ないところに学童保育所をつくりてほしいというような考え方や、既存の学童保育所とのバランスに対する考え方を伺います。

答 (教育部長)：地域間のバランスや地域ごとの需要の把握が大事だと思っています。地域によってはさらに増加する見込みもあると思いますので、その配分や将来的な利用者の推計なども勘案しますと、今後も民設民営を継続するのが望ましいと考えています。ただ、即時の対応は現実的に難しいため、国の交付金のメニューや制度の改革、拡充などを見極めながらハード面の支援の検討を始めました。

問 貸賃物件の改修や新規建設も国の交付金の対象ですので、その点も踏まえ、必要なところに学童保育所をつくりてほしいと思います。とはいっても、今年度の補助金の予算は3億円を超え1事業所当たり平均約685万円です。これを受ける学童保育所はしっかりと会計処理が必要で、法人化が必須に近いと思いますが、見解を伺います。

答 (教育部長)：法人化については進めているところです。補助金がどう生かされているのかや、どんな保育をしてどんな子どもを育てるのかといった保育の計画を出してほしいとお願いしています。どんな条件で補助するかについてもしっかりと検討して、補助金が本当に生かされるよう進めたいかと思います。

- ・他の質問

- ・学用品等経費負担のあり方について
- ・公立保育園のあり方について
- ・避難行動について
- ・コミュニティスクールについて



相模国分寺史跡などの 利活用について

創志会 森下 賢人

問 大正10年に県下初の国指定史跡とされた相模国分寺跡、そして国分尼寺跡の整備と利活用の状況を伺います。

答 (市長)：優れた歴史遺産を保存すべく、公有地化を進めています。史跡の保存と整備も進めており、さらなる利活用が求められていると認識しています。

問 国分尼寺跡では地域の皆さんか「国分にじの朝市」を開いているそうですが、相模国分寺跡について市で予算化していたり、今後予定している事業があれば伺いたいと思います。

答 (教育部長)：10月に相模国分寺むかしまつりを開催する予定です。また、国分寺跡の道路沿いに、大型の案内板、サイン表示などを今年度中に設置する予定です。

問 海老名駅からの徒歩圏内に相模国分寺跡、相模国分尼寺跡という歴史資産があることを、よりPRしたいと思っています。また、海老名駅周辺地区の都市再生整備計画の中で、駅北口の開設に伴つて、史跡や温故館へ誘導する案内板や路上の案内表示も計画しています。

問 海老名駅からの誘導サインを計画しているなら、相鉄海老名駅に新設される出入口の名称を、北口という冷めた名前にせずに、相模国分寺口にしてはいかがでしょうか。

答 (まちづくり部長)：改札口の名称とすることは、知名度を上げる方法の一つだと思います。市民に親しまれるとともに、来街者に分かりやすくなることが望ましいと考えます。鉄道事業者の意向もあるかと思いますので、鉄道3社や市民の代表などで構成され、相鉄駅舎整備の事業主体になつて、海老名市地域公共交通協議会を通じて協議していきたいと思います。